

平成23年度日光市指定管理施設の評価結果

【評価レベル】

評価の目安	評価ランク	内 容
↑ 良い	A	特に優れていると認められる。
	B	優れていると認められる。
普通	C	適正であると認められる。
	D	努力が必要であると認められる。
↓ 適切でない	E	かなりの努力が必要であると認められる。

※評価ランクについては、利用者満足度や経費低減、収入増加などの項目をもとに、決定しております。

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)
				A	B	C	D	E		
今 市 地 域	1 JR今市駅市営自転車駐車場	株式会社 近代ビル管理社	23.4.1～ 28.3.31			○			誰もが利用しやすく、利便性と安全性を両立した快適な環境づくりを維持しているという点で評価は「適正」であるといえる。ただ、駅の自転車駐車等という性質上、設置目的等を達成するだけでは収入の増加は見込めず、必要最低限の運営コストでその目的を如何に達成するかという点が難しいところであり、収支の改善を考える場合、利用率アップのための方策やアイデアが必要になってくる。	市民環境部 生活安全課
	2 温泉保養センター「かたくりの湯」	財団法人 日光市公共施設振興公社	23.4.1～ 28.3.31			○			今年度は4月が東日本大震災被災者の避難所として使用していたため2日間しか営業できず、震災があった平成22年度よりも営業日数が少なかったにもかかわらず、入場者が増加した。様々な自主事業の実施、ホームページや各旅行雑誌等への広告、各種割引サービスが効果的に図られ、指定管理者の努力が利用者の増加につながったと評価する。アンケート調査では、利用者の満足度、接遇の満足度が目標を下回り、一方で再利用希望率が9割を上回ったことは、施設面の充実度、低料金が評価されていると思える。このことから、接遇等のソフト面の向上を図り、一層の利用者の増加に努めてほしい。	観光部 観光交流課
	3 市民活動支援センター	特定非営利活動法人 おおきな木	22.4.1～ 27.3.31			○			会議室の利用、一般来場者が減少しているが、広報、情報提供の仕方に工夫（Facebook、Twitterの利活用、館内の掲示・レイアウトを随時更新）をするなど、センターの認知度は年々上昇し、スタッフの資質の向上、スタッフ間での情報の共有等が研修、ミーティングを通じて図られており、おおむね適正に管理運営されていると判断できるが、その一方で、ボランティア・人材育成の分野がまだ十分ではないため、引き続き自主事業、講座の開設等積極的に進めていただきたい。 有料講座の開設等、自主財源の確保につながる事業等も検討いただきたい。	市民環境部 生活安全課
	4 生きがいセンター	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	21.4.1～ 26.3.31			○			概ね適切に運営されているが、利用者意見の聴取が不十分であったので、この点について改善が必要。 高齢者が増加する近年、生きがいセンターの役割が、ますます高まると思われる。 施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。	健康福祉部 高齢福祉課

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)
				A	B	C	D	E		
今 市 地 域	5 今市宿市縁ひろば	今市観光協会	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			当該施設は、利用者が郷土の歴史・文化・産業にふれることを目的としており、日光市にちなんだ多種多様な事業を実施することが望まれる。また、立地も日光方面へ向かう道路に面しており、今市IC出口からも近く、さらに平成23年度は電気自動車の急速充電器も設置され今後、観光情報発信の拠点として、ますます重要な役割を担うことになる。このことから、職員のスキルアップに努め、サービスの充実を図り、観光振興に寄与してほしい。その他、全般的な事務処理にあたっては正確性とスピードの向上を強く望みたい。	観光部 観光交流課
	6 農村環境改善センター 大室ダム（ダム機能）	日光市土地改良区	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			施設の利用者数の増及び利用者層の拡大が見受けられた。利用者満足度調査等を行なうことで地域住民の要望を把握するとともに、今後も継続して利用者の確保に努めていただきたい。また、大室ダムについては、農業用ため池として重要な役割を担う施設であるため、今後更なる管理体制強化に努めていただきたい。	産業部 農林課
	7 大室ダム（周辺公園）	日光市土地改良区	23. 4. 1～ 26. 3. 31			○			概ね事業計画のとおり業務が遂行されており、利用者からの要望等に対する対応の速さについて評価できるが、トイレの苦情に対する、早急な改善等の検討をしていただきたい。	産業部 農林課
	8 小百川桜公園	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			施設の維持管理は概ね適正に管理されていた。今後は利用者の意見を積極的に聴取し、利用者が安心安全で快適な利用が行える施設運営を図ってほしい。また利用者を増やすためのイベント等の実施を検討願いたい。その他、全般的に事務処理が遅く正確性にも欠ける。指定管理者として業務を行う以上、事務処理能力の向上も図ってほしい。	観光部 観光交流課
	9 都市公園 ①丸山公園（無料施設） ②今市松原公園 ③今市中央公園 ④平ヶ崎公園 ⑤ひばり公園 ⑥あきの空公園 ⑦杉の木公園 ⑧春日町公園 ⑨原町公園 ⑩大桑杉並木観賞公園 ⑪轟工業団地第一公園 ⑫轟工業団地第二公園 ⑬轟工業団地緑地 ⑭大谷川グリーンパーク ⑮杉並木公園 ⑯おおり公園 ⑰かたくりの湯公園 ⑱森友ポケットパーク ⑲住吉町ポケットパーク ⑳市役所入り口ポケットパーク ㉑土橋公園 ㉒地蔵下公園	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			実績が目標の数値を概ね上回っている。利用件数・利用人数も増加しており、利用者の苦情件数も少なく、早急な対応が行われており、適正な維持管理が実施されていると判断できる。また、東日本大震災による東京電力の放射能汚染について、除染及び放射線量の測定を実施し、利用者が安心して利用できる施設管理がなされた。今後も事務費の削減を図りながら、より一層、安心して安全に利用できる施設の管理・運営に努めてほしい。	建設部 維持管理課
10 運動公園 ①今市運動公園 ②丸山公園 ③落合運動公園 ④豊岡運動公園 ⑤塩野室運動公園	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			東日本大震災後の放射線問題により大幅に利用者が減少したため、施設の設置目的や利用率の向上については、目標達成が困難ではあったが、管理運営は概ね適正に行なわれていた。施設によって利用者数の増減の割合に差があることから、原因を究明し増加に努められたい。また、アンケート等により利用者の意見や多方面からの情報を積極的に収集し、内容を分析して、一層の平等利用、安全対策、危機管理体制など公の施設にふさわしい適正な管理運営に取り組むに努力を図られたい。	教育委員会 スポーツ振興課	

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)
				A	B	C	D	E		
今 市 地 域	11 報徳今市振興会館	特定非営利活動法人 おおきな木	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			施設の設置目的である報徳精神の普及とともに、歴史的建造物の維持管理も充分に行なわれていると思われる。 今後、市歴史民俗資料館等と共同の事業実施を検討する等、利用促進に向けた取り組みが必要である。	教育委員会 生涯学習課
	12 杉並木公園ギャラリー	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31		○				高い利用日数、事業実施数が保たれている。 また、未利用日を活用した自主事業や、展示準備のための30分前開館、照明の増設等様々な工夫や改善がされ、結果が利用者満足度に顕著に表れている。 今後は、来場者（見学者）数増加のため、施設・催事の周知や新規利用者の開拓に努めてほしい。	教育委員会 生涯学習課
	13 今市文化会館	株式会社 ケイミックス	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			民間事業者として常に経費削減に取り組む姿勢が見られることは評価できる。自主事業においても予定した回数は実施され集客数では目標を上回るなど部分的には評価できる面もあるが、今後は、施設の利用向上に向けた新たな取組や創造的な事業など、提案書においてなされた更に質の高い事業への取り組みが必要である。一過性のイベント的な公演も必要ではあるが、地元の文化振興を中長期的に見据えた取り組みにも力を入れるべきである。 施設の維持管理については、予定通りの保守点検がなされほぼ従来どおりの管理がなされたが、各施設が年々老朽化し修繕に係る費用も増大していく中で、削減したコストを施設運営の向上や質の高い事業を実施するなどして、市に還元する方向で運用していただきたい。	教育委員会 中央公民館

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)
				A	B	C	D	E		
日光 地 域	1 奥日光診療所	公益社団法人 地域医療振興協会	21.4.1～ 24.3.31		○				日光市奥日光診療所条例に規定されている診療所の責務である、「奥日光地区における保健施設の拠点として、公衆衛生の向上及び健康増進に寄与することについては、規定の診療日数を確保する等、その機能を十分果たしている。今後は、奥日光地区という観光エリアに立地条件にあった、修学旅行生や観光客等への診療体制の充実について検討してほしい。	健康福祉部 健康課
	2 温泉保養センター ①日光温泉 ②やしおの湯	財団法人 日光市公共施設振興公社	23.4.1～ 28.3.31			○			やしおの湯では、東日本大震災の影響はあったものの、昨年を上回る集客数があった。日光温泉は、源泉の改修工事のため8ヶ月休館したことにより利用者、収入ともに減少してしまった。アンケート結果より、初めて施設を利用する方の割合が高いため、接遇や施設の清掃等リピート客の増加を図る取組を検討したい。	日光総合支所 観光課
	3 日光総合会館	財団法人 日光市公共施設振興公社	23.4.1～ 28.3.31			○			最低限の人員でサービスを低下することなく管理運営を行うことができた。また、様々な自主事業を開催することで、市民のみならず観光客に対しても音楽芸術鑑賞の機会を提供する場となり、施設の設置目的を達成することができた。さらに利用者増加を図るべく、幅広い年齢層が楽しめる工夫並びに事業実施を目指していただきたい。	日光総合支所 観光課
	4 市営駐車場 ①西参道第1駐車場 ②西参道第2駐車場 ③西参道第3駐車場 ④日光駅前駐車場 ⑤山内駐車場 ⑥上鉢石駐車場	財団法人 日光市公共施設振興公社	23.4.1～ 28.3.31			○			東日本大震災の影響による観光客の減少に伴い、利用料金は減収になったものの、常に利用者へのサービス向上を念頭に置き、利便性と安全性を考慮した管理運営を行うことができた。苦情・要望に対しても、臨機応変かつ迅速な対応をした。さらに広報活動などを行い、利用者増加を図られたい。	日光総合支所 観光課
	5 神橋駐車場	財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21.4.1～ 31.3.31			○			ホームページ上で施設案内をして利用促進を図ったり、閑散期には駐車場を無料開放して経費節減並びに地域活性化に貢献するなど、柔軟な管理運営を行うことができた。さらに広報活動などを行い、利用者増加に向けた取組に努めていただきたい。	日光総合支所 観光課
	6 小杉放菴記念日光美術館	財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21.4.1～ 31.3.31			○			設置目的である、日光市ゆかりの画家小杉放菴の調査研究、展示や、ミュージアムコンサートの開催などを通じて市民文化の振興発展に対する寄与は認められる。ただし、入館者数については減少の傾向にあることから、今後は、調査研究の結果やイベントの開催を集客の増加に結び付ける工夫や努力をしてほしい。	教育委員会 生涯学習課
	7 日光福祉保健センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	23.4.1～ 28.3.31			○			日光地域の高齢化率は33.8%と高く、高齢者に対する福祉保健センターの役割が、高まると思われる。施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。	健康福祉部 高齢福祉課
	8 小来川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	20.11.1～ 25.3.31			○			(介護予防)通所介護の拠点として平成20年10月の開所から4年が経過し、利用者及び家族の希望を踏まえた、きめ細かいサービスを提供していることから、小来川地区での認知度が向上し、利用者が増加していることは評価できる。利用者ニーズの把握をすることは当然であるが、利用者家族の要望を把握し、サービスの改善、向上に役立てていく必要がある。また、自分たちの提供しているサービスを定期的にチェックするなど、節目節目で振り返りを行い、さらにワンランクアップしたサービス提供を行っていくことが求められる。今後は、小来川地区の元気な老人を集客することにより、住み慣れた地区で生きがいを持ち安心して生活できるよう地域に根ざした生活支援体制を確立していくことが求められる。さらに、小来川デイサービスセンターへの送迎が可能である今市地域にも営業を行うなど、さらなる利用者の拡充に努めていく必要がある。	健康福祉部 介護保険課

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)	
				A	B	C	D	E			
日光 地 域	9	小倉山森林公園	日光彫り体験教室運営協議会	21.4.1～ 24.3.31			○			公園内遊具等利用者は、東日本大震災の影響により減少がみられるが、日光彫り体験教室の運営については前年度に比して764人の体験者増があり、さらにアンケートでも高評価を得ている。また、冬期間の体験者数の増加が見られ、収入の増加と地場産業の普及の面からも評価できる部分である。また、自衛消防隊による防災訓練を実施し、職員の防災に対する意識の向上を図っており、危機管理体制の整備を図った。公園管理については、地元自治会への一部委託の実施や、除草をシルバー人材センターに委託し、短期間で広範囲の除草を実施することで、安全で快適な公園管理を行った。	日光総合支所 産業建設課
	10	交流促進センター	日光温泉旅館協同組合	21.4.1～ 24.3.31			○			東日本大震災の影響があつたにもかかわらず、前年並みの集客が確保できた。また、稼働率は下がったものの、福島県からの被災者を積極的に受け入れた事は評価できる。今後は、更なる質の向上に努め集客を増やす取り組みを願いたい。	日光総合支所 観光課
	11	郷土センター	社団法人 日光観光協会	22.4.1～ 27.3.31			○			日光地域の観光案内の拠点として、来訪する観光客に対し年中無休で最新の情報を提供するとともに、ホスピタリティの向上に努めている。また、全館を利用した地域イベントを開催する等、関係団体との連携も図れている。今後は、観光客が自ら情報収集できるよう館内でのネット環境の整備を検討願いたい。	日光総合支所 観光課
	12	中宮祠介護サービスセンター	社会福祉法人 千成会	23.3.1～ 26.3.31			○			中宮祠地区の（介護予防）通所介護及び（介護予防）訪問介護の拠点として平成23年3月の開所から1年3箇月が経過した。介護保険法の適正な人員配置や業務運営が行われており、苦情や事故もないことから適正な管理運営ができています。利用拡大につなげるため、地元自治会長との協議、センター紹介の広報作成と配布、地元イベントへ参加しPRするなど周知を図っているが、現在のところ直接的な利用につながっていない。今後は、さらなる利用拡大に向け、日光地域の事業所、地域包括支援センター、ケアマネージャー、地元民生委員等への周知PRを積極的に行い、連携を図ることで、中宮祠介護サービスセンターの認知度を高める必要がある。また、地元イベントへの参加、幼稚園・小学校での交流を行い、認知度を高める必要がある。	健康福祉部 介護保険課

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)
				A	B	C	D	E		
藤 原 地 域	1 三依診療所	学校法人 獨協学園 獨協医科大学日光医療センター	21.4.1～ 24.3.31		○				日光市三依診療所条例に規定されている診療所の責務である、「三依地区における保健施設の拠点として、公衆衛生の向上及び健康増進に寄与すること」については、地元との信頼関係も築かれ、その機能を十分果たしている。今後は、医師不足という実情は理解するが、規定の診療日数を確保してほしい。	健康福祉部 健康課
	2 藤原福祉センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	21.4.1～ 26.3.31		○			藤原地域の高齢化率は32.9%と高く、高齢者に対する藤原福祉センターの役割が、高まると思われる。施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。また、民間参入が難しい山間地へのサービスを、引き続き積極的に行ってもらいたい。	健康福祉部 高齢福祉課	
	3 高齢者福祉センター	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	21.4.1～ 26.3.31			○		施設の運営は適切に実施されていた。なお、所期の設置目的を達成したこと及び施設敷地の一部が道路用地となったことから、平成24年3月31日で施設を廃止とした。	健康福祉部 高齢福祉課	
	4 ふるさと体験村（みよりふるさと体験村センター・キャンプ場）	中三依自治会	21.4.1～ 26.3.31				○	震災の影響があったものの、本施設はリピーターの利用が多いと考えられる。中三依温泉センターと連携した運営により、三依地域の振興に寄与してほしい。今後の管理運営に期待したい。	藤原総合支所 観光課	
	5 川治温泉薬師の湯	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会	21.4.1～ 24.3.31			○		当温泉施設は電化設備のため、特に電気料の経費節減に取り組んでいる。その他経費を含め今後の成果に期待したい。また、隣接する川治ふれあい公園や川治あじさい公園、河川遊歩道も含めたPRを行うことで観光客の利用増を期待したい。さらに、地元の方ならではのあたたかいサービス提供を期待したい。	藤原総合支所 観光課	
	6 鬼怒川・川治温泉観光情報センター	特定非営利活動法人 鬼怒川・川治温泉観光協会	21.4.1～ 26.3.31			○		温泉観光地である鬼怒川・川治温泉の情報発信基地として、また、鬼怒川温泉駅前に立地していることから、利用客の利便が良く誘客に大いに貢献していると評価できる。観光振興のために必要不可欠な施設であると言える。特に今年度は震災避難者対応のため貢献した。	藤原総合支所 観光課	
	7 上三依水生植物園	有限会社 山加園	23.4.1～ 28.3.31			○		藤原地域北部に位置し、地元雇用や野岩鉄道等とのイベントへの協力など地域振興に寄与している。また、アンケートの実施、枝打ち・伐採等の草花の発育環境の改善など植物園の管理やホームページ等でのリアルタイムな開花情報のアップデートなどに力を入れている点を評価したい。	藤原総合支所 観光課	

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)
				A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	1 国民宿舎かじか荘	有限会社 E & K S 共和国	22. 4. 1～ 27. 3. 31				○		福島第1原発事故の風評被害により利用者減となった。冬期割引料金の設定など利用者増加の工夫が見られるが、利用者増加に向けてのさらなる工夫をはかられたい。また、昨年はかじか荘内での事故報告の遅れが生じたので、今後は迅速な連絡をはかられたい。	足尾総合支所 観光課
	2 足尾保健・高齢者生活福祉センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			足尾地域の高齢化率は47.2%と市内でも高く、高齢者に対する足尾保健・高齢者生活福祉センターの役割が、高まると思われる。施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。	健康福祉部 高齢福祉課
	3 銀山平公園キャンプ場	有限会社 E & K S 共和国	22. 4. 1～ 27. 3. 31				○		福島第1原発事故の風評被害もあって利用者が減少している。この傾向は今後も継続することが予想されるが、かじか荘との経営の一体化を推進して経営の効率化、誘客につとめてほしい。	足尾総合支所 観光課
	4 足尾生産展示直売所	有限会社 E & K S 共和国	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			新しい企画や併設施設を考慮した販売品目の追加など、独自に工夫した営業形態に力を注いだ。震災の風評被害による影響や従業員確保に苦心し、開設日が減少したことから、利用者数及び収入において、平成22年度より減少してしまった。施設の存在を広く紹介できるような、PRの方法を従業員同士で話し合い、実施してほしい。施設の維持管理や観光情報の発信、利用者の安全対策の面においては、昨年度より強化した対策を施している。	足尾総合支所 産業建設課
	5 庚申山荘	有限会社 E & K S 共和国	22. 4. 1～ 27. 3. 31				○		福島第1原発事故の風評被害により利用者が減少した。特に6月のコウシン草開花時期の利用者の減少が見られた。原発事故の影響はH24年度も続くと思われるが、今後にかじか荘での受付、入浴料割引などの一体化により経営の効率化推進をはかられたい。	足尾総合支所 観光課
	6 赤倉集会所	赤倉自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	7 南橋集会所	南橋自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	8 上間藤集会所	上間藤自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	9 上の平集会所	上の平自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。次年度は、更に経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	10 下間藤集会所	下間藤自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	11 田元集会所	田元自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)
				A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	12 野路又集会所	野路又自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	13 掛水集会所	掛水自治会	22.4.1～ 27.3.31		○				全般にわたり、適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 また、利用人数においても目標値を超えているが、次年度は、更に利用の増加を目指して施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	14 内の籠集会所	内の籠自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	15 向原集会所	向原自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	16 赤沢集会所	赤沢自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、更に経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	17 松原集会所	松原自治会	22.4.1～ 27.3.31		○				全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	18 通洞集会所	通洞自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	19 砂畑集会所	砂畑自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	20 中才集会所	中才自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、更に経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	21 原集会所	原自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
22 唐風呂集会所	唐風呂自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課	

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)
				A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	23 餅ヶ瀬集会所	餅ヶ瀬自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	24 足尾南部生活改善センター	中才自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用人数の増加及び経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	25 足尾東部生活改善センター	神子内自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	26 切幹林業活動促進センター	切幹自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	27 遠下林業活動促進センター	遠下自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用者からの苦情が無いことは評価できる。 次年度は、利用の増加及び経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	28 足尾環境学習センター	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会	22.4.1～ 27.3.31					○	福島第1原発事故による風評被害により利用者が減少している。指定管理者の足尾に緑を育てる会が実施している植樹体験者へに誘客活動をとおして利用者増をはかられたい。	足尾総合支所 観光課

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)	
				A	B	C	D	E			
栗 山 地 域	1	川俣温泉集会所	川俣温泉自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	2	川俣集会所	川俣自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	3	野門集会所	野門自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	4	若間集会所	若間自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	5	上栗山集会所	上栗山自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	6	黒部集会所	黒部自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	7	土呂部集会所	土呂部自治会	22.4.1～ 27.3.31		○				全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	8	青柳平集会所	青柳平自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	9	日蔭集会所	日蔭自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般的にコストが増加している一方で、なお一層のコスト削減を図られたい。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	10	日向集会所	野尻自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	11	大王集会所	大王自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	12	小穴集会所	野尻自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	13	戸中集会所	戸中自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	14	小指集会所	戸中自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	15	西川集会所	西川自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般的にコストが若干増加している一方で、なお一層のコスト削減を図られたい。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	16	湯西川上集会所	湯西川上自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	17	12湯西川下地区集会所	湯西川下地区自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般的にコストが増加している一方で、なお一層のコスト削減を図られたい。その他については、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	18	土呂部キャンプ場	土呂部キャンプ場管理組合	23.4.1～ 28.3.31				○		キャンプ場利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課

地域等	施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H23)	
				A	B	C	D	E			
栗 山 地 域	19	上栗山オートキャンプ場	上栗山開運の里管理組合	23.4.1～ 28.3.31				○		キャンプ場利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課
	20	平家の里	平家の里湯西川協同組合	18.4.1～ 28.3.31				○		概ね適正に運営がなされているが、今後の誘客推進やコスト削減に取り組んでほしい。	栗山総合支所 観光課
	21	川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	川俣湖温泉ふれあいの里管理組合	23.4.1～ 28.3.31				○		温泉利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課
	22	野門温泉共同浴場「家康の湯」	平家高原家康の里開発組合	23.4.1～ 28.3.31				○		温泉利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課
	23	上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	上栗山開運の里管理組合	23.4.1～ 28.3.31				○		温泉利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課
	24	湯の郷湯西川観光センター	株式会社 湯の郷	22.4.1～ 27.3.31				○		概ね適正に運営がなされているが、今後の誘客推進やコスト削減に取り組んでほしい。	栗山総合支所 観光課
	25	自然体験交流センター 「安らぎの森 四季」	安ヶ森管理組合	23.4.1～ 28.3.31				○		地域全体の観光入込みが減少しているが、地域の観光宿泊施設と連携し、更なる利用客数増を目指す必要がある。	栗山総合支所 産業建設課
26	栗山デイサービスセンター 西川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	22.4.1～ 25.3.31				○		(介護予防)通所介護の拠点として平成22年4月の開所から2年が経過し、利用者及び家族の希望を踏まえた、きめ細かいサービスを提供していることから、栗山地域のほかに藤原地域での認知度が向上し、利用者が増加していることは評価できる。利用者ニーズを把握することは当然であるので、書面での利用者アンケート調査を行い、定量的な分析を行う必要がある。このことは、自分たちの提供しているサービスが適切なものであったか否かの確認につながり、サービスの改善につながる。今後は、一層、地域との接点を増やし、住み慣れた地区で生きがいを持ち安心して生活できるよう地域に根ざした生活支援体制を確立し、利用者の拡充に努めていく必要がある。	健康福祉部 介護保険課	
27	湯西川水の郷	株式会社 湯西川水の郷	23.7.1～ 27.3.31				○		観光客が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。また、大型観光施設であるが、施設維持管理費の大幅なコスト削減に努める必要がある。	栗山総合支所 観光課	